

国際探求学科 2020年度年間指導方針

1 指導の目標

- (1) 異なる文化・価値観を理解し尊重する態度を養い、多様な文化・価値観を持った人々と共に生きていく、豊かな感性を育む。
- (2) 国内外の諸問題について幅広い見識を身につけ、探究活動、ポスター発表、スピーチ、ディベート、ディスカッションなどを通して、課題解決に向けて主体的・対話的に学び、グローバルな視野で考え、行動する力を養う。
- (3) 国際社会において必要とされる、他者の考えを理解した上で自身の考えを正確に表現することのできる英語運用能力を身につけ、卒業後、世界で活躍する人物を育成する。
- (4) 教科の基礎・応用を身につけさせた上で、学年、進路指導部、各教科との連携を密にし、AO・推薦入試など多様な入試形態を活用し、一人ひとりに最適な方法で進路実現をはかる。

2 重点課題

(1) カリキュラム・マネジメントの推進

3年間を見通したカリキュラム・マネジメントの視点から、「国際探求Ⅰ・Ⅱ」、「21世紀の国際理解」などの特色ある授業を発展的に継続させる。また、JICAなどの国際機関や大学への訪問、大学教員による専門的な講義等の学科行事を利用し、学びのフィールドを広げ、グローバルな視野で物事を捉え見識を深める機会を設ける。そして学科行事ごとに評価を行い、生徒の学習状況を明確にし、行事の整理・拡充を図る。

(2) 主体的な学びの促進

ディベート、スピーチ、エッセイなどの様々な外部コンテスト、および探究活動発表会への積極的な参加を促し、主体的に学ぶ姿勢を養う。

(3) 教科横断的な指導の推進

「探究Ⅲ（科学英語表現）」や「情報の科学」で、理科や情報科と教科横断的な指導を実施する。

(4) 外部検定試験の活用

英語運用能力を測る一つの手立てとして、外部検定試験（GTECの3年間全員受験、および英検の校内受験など）の受験を推奨する。

(5) 「インスパイアハイスクール事業」の推進

地域の小学校、中学校、大学との連携を深め、尼崎市における英語教育の拠点としての役割を果たすことを目的とし、「大学教授による特別講義」、「小中高連携英語研究会」などの事業を充実させる。

(6) 広報の充実

ホームページの掲載やオープンハイスクールで説明する機会を活用し、地域および市内・市外の小学校・中学校への広報活動を充実させる。

(7) e-learningの推進

生徒の学外における学習の機会を充実させるために、インターネットを利用した学習形態（e-learning）を推奨し、日常の指導に取り入れる。

※新型コロナウイルス感染症拡大によって、上記の計画実施に一部修正が必要となることも考えられる。